



## 保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常な使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により無償で修理いたします。

※ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

● 商品名

Roadview Eagle DR-966RV

● 保証期間

※お買い上げ年月日 年 月 日から 1年間

※  
お  
客  
様

ご住所 〒

TEL ( ) -

※  
販  
売  
店

店名/住所 〒

TEL ( ) -



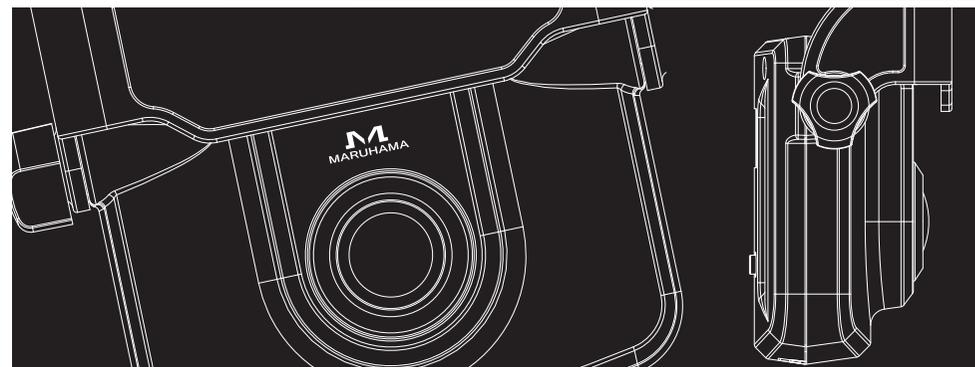
株式会社  
マルハマ

〒 232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4  
商品についてのお問い合わせは  
マルハマサービス フリーダイヤル 0120 (08) 1114  
携帯電話よりおかけの方は TEL 045 (251) 2687

# RoadView Eagle

## 取扱説明書

### DR-966RV



※お願い

本体をお取付けになる前に必ず33ページをご覧ください。

事故状況を証言する第三の目！

◆ 車両事故デジタル映像記録、衝突事故の状況を記録します！

[ 本製品は専用映像ブラックボックスシステムです]

[Roadview Eagle は道路情報入手カメラとして、衝突事故の映像を記録するシステムです]

・ 道路情報入手カメラ・ETC等は・道路運送車両法・保安基準第29条の前面ガラス装着規制から除外指定商品となっております。2007年2月28日現在)

\* 但し設置場所フロントガラスの上端から上下方向に1/5以内の場所に取り付けて下さい。

・ 保証書は[購入日・販売店]などの記入を必ず確認してお受け取り下さい。

・ ご使用前に・取扱説明書兼保証書をよく読んで、正しくご使用して下さい。

(必要な時にすぐ使えるように大切に保管してください。)

・ 一定加速度衝撃以下での事故時には映像ブラックボックスデータが記録されない場合もあるので、注意して下さい。(映像ブラックボックス機能参照)

・ 万が一未撮影のときの責任は負いかねます。

・ 記録された映像は事故検証の補助的なものです。

\* 証拠としての効力があるとは限りません。

・ 不適切な使用及び装着・改造による故障・事故に対して弊社では責任を負いかねます。

\* 本製品は安全運転のため補助する車両用便宜装置です。事故については弊社は責任を負いません。

正しくお取付頂きますと、正常な映像での撮影が行えない事がございます。ご注意下さい。

\* Windows 2000 / XP / Vistaがインストールにされたパソコンでのみ動作します。

## 製品案内

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 1. 安全についてのお願いとご注意                | 3  |
| 2. 製品の構成                         | 5  |
| 3. 各部分の名称                        | 6  |
| 4. 映像ブラックボックス機能                  | 7  |
| 5. 各ボタンの機能                       | 9  |
| 6. LED表示及びブザー音案内                 | 9  |
| 7. USBフラッシュメモリーを使用しての映像ダウンロードの方法 | 10 |

## ソフト案内

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. 解析ソフトのインストール        | 11 |
| 2. ドライバーのインストール        | 12 |
| 3. ソフト重要機能             | 15 |
| 4. Roadview Eagle 設定方法 | 18 |
| 5. 映像データダウンロード方法       | 19 |
| 6. 映像データ再生方法           | 20 |
| 7. 他のPCで記録映像を確認の手順     | 23 |
| 8. 動画ファイル変換及び再生        | 25 |
| 9. 加速度データ解析例           | 28 |
| 10. 衝撃判断グラフ            | 29 |

## 設置案内

|               |    |
|---------------|----|
| 1. 設置時の注意事項   | 30 |
| 2. 取り付け方法     | 31 |
| 3. カー電源コードの配線 | 34 |
| 4. 取付時の点検事項   | 35 |
| 故障だと思う前に      | 36 |
| 主な仕様          | 37 |
| 製品保証書         | 38 |

## 1. 使用時 注意事項

## ■ 安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。この取扱説明書の安全に正しく使用し、お客様や他の人への危害と財産への損害を防ぐために様々な絵表示をしています。  
ご使用になる前にこれらをよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。  
規定外のご使用により発生した人身・物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

## ■ 絵表示の例

-  △ 記号は気をつける必要があることを表しています。(警告・注意)  
 ○ 記号はしてはいけないことを表しています。(禁止) 図の中や近くに表示の内容(左図は分解禁止)を示し、一般の表示は○です。  
 ● 記号はしなければならないことを表します。(強制) (左図は差し込みプラグコンセントから抜く) 一般の表示は●です。

## ■ 人身の安全のためにお守りいただくこと

-  ・本機を濡らさないでください。水につけたり、水をかけたりしないで下さい。又濡れた手で操作をしないでください。感電・故障の原因となります。
-  ・車を運転中に本機を操作しないでください。車を運転中に本機の操作をすることは交通事故の原因になります。運転中の運転者での操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
-  ・絶対に分解・修理・改造しないで下さい。異常な動作が起きる可能性があります。製品に改造等が認められる場合、アフターサービスを受けることができない可能性があります。
-  ・ケースは絶対に開けないでください。本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ・発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちにご使用を中止してください。これらの異常を検出した場合には直ちに本機カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いて、ご使用を中止して下さい。そのままご使用しますと火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けて下さい。

## ■ けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと

-  ・衝撃や強い振動を加えないでください。衝撃や強い振動を加えますと精密部品が壊れ、故障の原因になります。
-  ・ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。シンナー・ベンジン・化学雑巾などをご使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機のカー電源コードを車のシガーソケットから抜いてください。

## 機能上の制約

1. 製品のレンズの前に異物質またはステッカーなどが視野を遮る場合、正常な動作が不可能なので装置前面部の汚れに注意してください。また、製品周囲に他物が、置いてある場合にも窓に反射されて見える危険があるので設置した製品の周囲には他の物は置かないでください。
2. 初めに設置した時、正常に動作したとしても位置がずれると誤作動の原因になります。取付ける時はしっかり装着して下さい。
3. 長い期間使用した場合や非舗装道走行など、はげしい振動等で本体の角度が変り、誤作動が発生することもあります。平らな道路の停止状態で初期位置に直して下さい。
4. 一定加速度衝撃以下での事故時には映像ブラックボックスデータが記録されない場合もあるので、注意して下さい。(映像ブラックボックス機能参照 P7)
5. 記録画像データが完全に保存される前に本体の電源が切れた場合にバックアップ電池により電源が切れる迄の記録画像データを処理し保存します。

## [バックアップ電池充電について]

初めてご使用になる前又は長期間ご使用されなかった場合充電が必要になります。PCかDCコードで30秒間位接続してください。

## [電池の寿命について]

本体内蔵電池は使用状況にもよりますが約10年位が寿命です。  
\* 充電電池を交換される場合は本体をお買い上げの販売店にお持ちになり、交換をご依頼ください。

6. 過度な衝撃や湿気等に注意してください。製品装着後圧力または衝撃を加えられ位置がずれて誤作動を起こす危険がありますので気を付けて下さい。
7. 時刻の誤差が1年間で30分位発生する可能性があります。時刻の精度を保持する為に2-3ヶ月に一度 Roadview Eagle Manager から時刻の修正を行って下さい。  
\* PCをインターネット時計に設定して頂くと、パソコンの時間のくるいはありませんのでおすすめします。
8. 本製品のハードウェア・ソフトウェアに対する全ての権利は製造社が保有しています。これの無断複製、加工配布時には民事上損害賠償はもちろん、私的財産権保護管理法律により刑事処罰を受けることもあります。

[お買い上げ頂いたRoadview Eagle は次の品目から構成されています。]

- 本体
- カー電源コード
- USB アダプタ A (PC接続用)
- USB アダプタ B (USBフラッシュメモリー接続用)
- マウント
- 予備両面テープ
- 取扱説明書兼保証書 (本書)
- 解析ソフトウェア CD



本体



カー電源コード



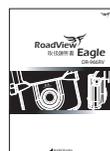
USB アダプタ A/B



マウント



予備両面テープ



取扱説明書兼保証書 (本書)



解析ソフトウェア



## 4. 映像ブラックボックス機能

車両を運行している時や停止している場合、接触事故や衝突事故が発生すると事故直前直後の映像と車両情報を記録する機能です。

Roadview Eagle は最大10回の衝撃映像が記録できます。ご使用中に衝撃と関係なく映像を記録する場合には REC ボタンを押すと記録ができます。

10回の映像が記録された後、衝撃が発生すると最新の映像が一番古い映像に上書きされます。映像の上書きを防止するためには Roadview Eagle の電源コードを抜いてください。映像を保存する場合は、付属のUSB アダプターでダウンロードする方法と付属の USB変換アダプターで市販のUSBフラッシュメモリー（記録メディア）に接続し一時保存後、PCに保存する方法があります。PCとUSB アダプターを接続して映像を保存した後は、Roadview Eagle の“データ削除”機能で製品に保存された映像を削除して下さい。

事故発生時には短いブザー音と共に LEDランプが緑に点灯し映像の記録が始まります。記録が完了された後は LEDランプが青色に点灯します。



## [事故発生時映像及びデータ記録機能]

Roadview Eagle は車両に事故が発生するとこれを自動的に感知して、事故前14秒・事故後6秒の映像を記録します。また、同時に車の 3軸加速度データと事故発生時刻を記録します。

## 4. 映像ブラックボックス機能

## [映像及び車両データ分析機能]

ブラックボックスシミュレーションプログラムRoadview Eagle を利用して事故当時の映像と車両データを分析できます。

## [加速度と衝撃量]

次のような条件の場合、加速度の数値によって事故と判断し、映像とデータが記録されます。

加速度は  $1G = 9.8m/sec^2$  と定義する。

加速度変化は0.7秒間の変化量(最大値-最小値)を意味します。

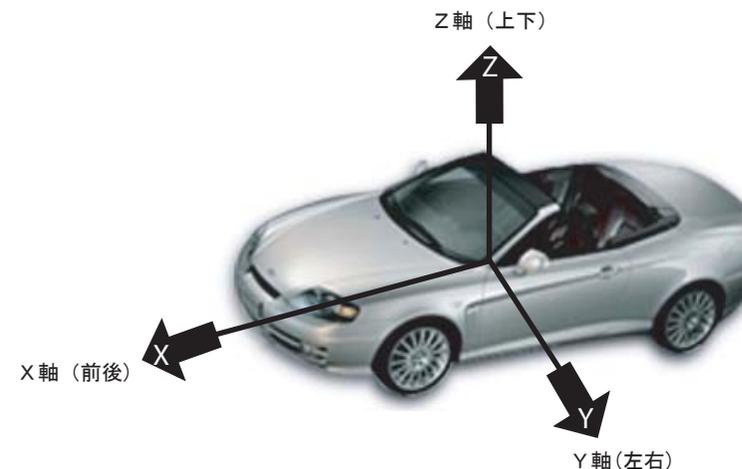
## [映像ブラックボックス事故記録条件]

条件 1: X 線の衝撃量が設定値以上の時

条件 2: Y 線の衝撃量が設定値以上の時

条件 3: Z 線の衝撃量が設定値以上の時

\* 初期設定値は 0.5Gです。この設定値は付属された Roadview Eagle Managerを利用して設定の変更が可能です。詳しい内容は [ソフト案内]を参照 (18ページ) して下さい。



## 5. 各ボタンの機能

[REC ボタン]

REC (Record) ボタンを押して任意で映像を記録できます。

自動保存と同じくボタン押す前 14秒・押した後 6秒の映像と加速度データを記録します。

MUTE/DNボタンはミュート機能とUSBフラッシュメモリーに保存する機能が御座います。

MUTE/DN ボタンを短く一度押すたびにON/OFFします。

一度押した場合 : MUTE ONでブザー音が出ません。

再び押した場合 : MUTE OFFでブザー音が出ます。

MUTE/DNボタンを長押しすると本体に記録された映像を“市販のUSBフラッシュメモリー”に一時保存する時に使用します。

保存方法は P.10 (7. 記録映像の一時保存) を参照。

## 6. LED 表示及びブザー音案内

| 区分         | 動作案内             | ブザー音 | LED ランプ | 備考                               |
|------------|------------------|------|---------|----------------------------------|
| スタート       | 電源ON 後           | 3回   | 黄→緑→青   | 待機状態で LED ランプは青が点灯.              |
| 映像ブラックボックス | 映像ブラックボックス記録スタート | 2回   | 記録中緑    |                                  |
|            | 映像ブラックボックス記録完了   | 1回   | 青       |                                  |
| REC ボタン    | ボタン押した後          | 2回   | 記録中緑    |                                  |
|            | 映像ブラックボックス記録完了   | 1回   | 青       |                                  |
| MUTE ボタン   | MUTE/ ON         | 1回   | 薄い青色    |                                  |
|            | MUTE/OFF         | 2回   |         |                                  |
| DN ボタン     | 保存開始             | 2回   | 黄       |                                  |
|            | ダウンロード終了         | 1回   | 青       |                                  |
|            | ダウンロード失敗         | 2回   | 黄 点滅    | 下の [USB ダウンロードができない状況] を参照して下さい。 |
| PC との接続    | 映像送信スタート         | 2回   | 黄       |                                  |
|            | 映像送信完了           | 1回   | 青       |                                  |
| システム       | システムエラー          | 連続   | 白       |                                  |
| 設置角設定      | 設置角設定開始          | 2回   | 白       |                                  |
|            | 設置角設定終了          | 1回   | 青       |                                  |

## 7. USBフラッシュメモリーを使用する際の映像の一時保存方法

## \* ご注意

本製品はFAT16 または FAT32でフォーマットされた“USB フラッシュメモリー”に対応しております。

“USBフラッシュメモリー”の容量不足。不要なファイルを削除し、再度、ダウンロードして下さい。(最小60MB空き容量が必要)

次のような手順で本体に記録された映像を“市販のUSB フラッシュメモリー”に一時保存します。

1. USBフラッシュメモリーに付属のUSB変換アダプター Bを接続し本体に接続します。
2. LEDランプが青で点灯しているか確認してください。
3. MUTE/DNボタンを2秒間、長押ししてください。
4. ブザー音と共にLEDランプが黄の点灯に変わると保存を開始します。
5. 保存が完了するとLEDランプの点灯が青に変わります。

## \* ご注意

USBフラッシュメモリーに記録映像を保存中は電源を切らないでください。

又、保存中にはUSBフラッシュメモリーを本体から外さないでください、USBフラッシュメモリーが 損傷したり、映像保存も完了しません。(保存完了のランプを確認したら外して下さい。)

[USBフラッシュメモリーにダウンロードができない状況]

1. “USBフラッシュメモリー”の接続が完全でない。USB アダプターを確認して下さい。
2. “USBフラッシュメモリー”の認識ができない。他の“USB フラッシュメモリー”でお試してください。

1. 解析ソフトのインストール

- (1) 本製品を 接続していない状態でRoadview Eagle Manager CD-ROMを パソコンにセットします。下の画面が表示されますので “Next” ボタンを押します。

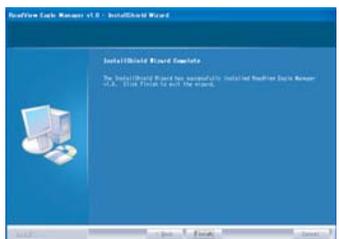


使用できるOS  
Windows 2000 / XP / Vista

- (2) 下の画面が出てきます。“Install” ボタンを押してインストールを開始します。



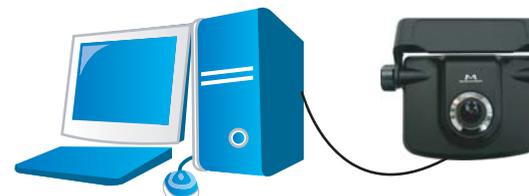
- (3) インストールが完了すると次の画面が出てきます。“Finish” ボタンを押してインストールを終了します。  
\* インストールは完了しますが、ドライバのインストールが残っています。次の段階に進んで下さい。



Roadview Eagle Manager ソフトは Program Files¥ Roadview Eagle にインストールされました。

2. ドライバのインストール : USB ドライバ

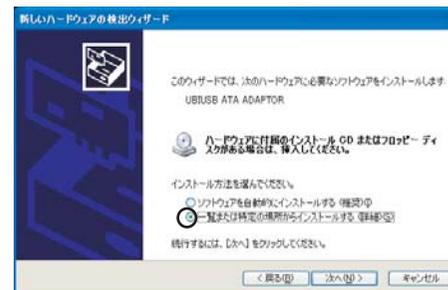
(CD-ROMを入れたまま続けて下さい。)



- (1) 本製品に UBS アダプターを接続した後、PCの USBポートに USBアダプターを接続します。下記画面がでてきます。“いいえ、今回は接続しません (I)” を選択し、“次へ”ボタンを押して下さい。



- \*ご注意  
Windowsのバージョンにより上記の表示が出ない場合があります。次の手順に進行して下さい。  
(2) 下の画面が出てきます。必ず“一覧または特定の場所からインストールする”を選択した後に“次へ” ボタンを押して下さい。  
\* 上の過程を省略して“次へ”ボタンを押すと、ドライバが設定できない場合もありますのでご注意して下さい。

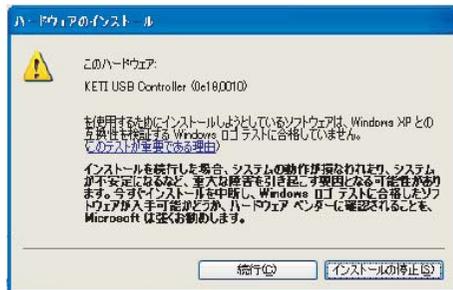
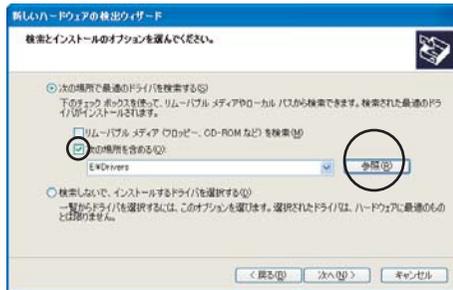


2. ドライバーのインストール : USB ドライバー

2. ドライバーのインストール : USB ドライバー

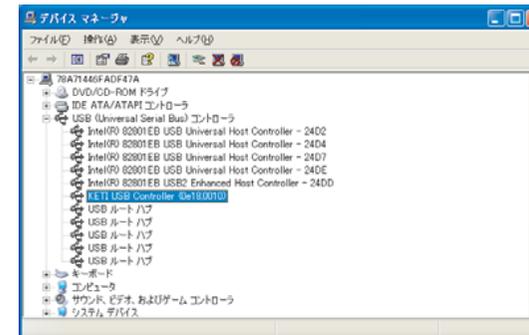
- (3) 下の画面が出てきます。必ず、“次の場所を含める”のチェックボックスにチェックをいれた後に“参照”ボタンを押してCD-ROMのドライブを設定します。上の過程が完了した後に、“次へ”ボタンを押して下さい。  
\* 上の過程を省略して“次へ”ボタンを押すと、ドライバーが設定できない場合もありますのでご注意ください。

- (4) USB ドライバーが正常に設定できると下の画面が出てきます。“完了”ボタンを押して USB ドライバー設定を終了します。



- ※ ドライバー設定の確認  
ドライバー設定を下のような方法で確認することができます。まず、本製品を PCに接続し、デバイスマネージャーから確認できます。

続行をクリックして下さい。インストールが開始されます。



3. ソフトの機能

3. ソフトの機能



- ① : 記録された映像を表示します。
- ② : 映像再生の間、バーが移動します・この移動バーはマウスで動かすことができます。
- ③ : 加速度データ又は加速度変化量データをグラフで表示します。右側の下の“加速度”ボタンを押せばボタンの表示が“加速度変化量”になり加速度変化量データが表示されます。もう一度押せば“加速度”ボタンに戻って加速度データが表示されます。
- ④ : 加速度データと加速度変化量・現在データの最大加速度データを 数字で表示します。
- ⑤ : データの日付と時間を表示します。
- ⑥ : ファイルを開いた時の指定されたファイルをリスト表示します。
- ⑦ : プログラムの各メニューボタンを表示します。

| ボタン | 名称     | 説明   |
|-----|--------|--|
|     | ダウンロード | 映像データを本機や USBフラッシュメモリーからPCに保存(ダウンロード)する機能です。     |
|     | 開く     | 保存された映像データを開きます。                                 |
|     | 印刷     | 現在の画面をプリントします。                                   |
|     | 再生     | 呼び出したデータを再生する機能です。ボタンを押すと映像が再生されます。              |
|     | 一時停止   | 再生を一時的に停止します。                                    |
|     | 停止     | 再生を停止。   |
|     | 前へ     | 映像を1カットずつ再生する機能です。このボタンを押すたびに映像が1カットずつ前に戻り再生します。 |
|     | 次へ     | 映像を1カットずつ再生する機能です。このボタンを押すたびに映像が1カットずつ前に再生します。   |

3. ソフトの機能

4. Road View Eagle 設定方法

| ボタン  | 名称   | 説明   |
|--|------|--|
|   | グラフ  | 加速度データと加速度変化量データを精密なグラフで拡大表示する機能です。  |
|   | 本体設定 | 本体のブラックボックス記録感度を設定する機能です。  |
|   | 時間設定 | 本体の時間をPCの時間に合わせる機能です。  |
|   | 動画変換 | 選択された映像を動画映像ファイルに変換する機能です。変換された動画映像ファイルはWindows Media Playerで閲覧できるように保存されます。           |
|   | 削除   | 本体内の記録映像データを削除する機能です。(最大 10個データ一括削除)映像データのダウンロードが完了して、本体内のデータがなくなった場合にだけ削除ボタンを押してください。 |
|   | コピー  | Roadview Eagle Managerをコピーする機能です。  |
|   | 情報   | 現在プログラムのバージョン情報を表示します。   |
|  | 終了   | ソフトを終了します。   |

◆ブラックボックス記録感度の設定

映像ブラックボックスの自動記録感度を設定します。基本的には [映像ブラックボックス事故保存条件] で事故を判断して自動保存します。記録条件が敏感すぎるとき (あまりにも記録される時が多い) 初期設定値以上の値で設定して下さい。逆に、鈍い時は初期設定値以下の値で設定して下さい。

\* 普通乗用車の設定目安  
0.45-0.6G



◆時刻の設定方法

本体を付属のUSBアダプターでPCに接続して“時間設定”ボタンを押してください。完了後下の画面が表示されます。



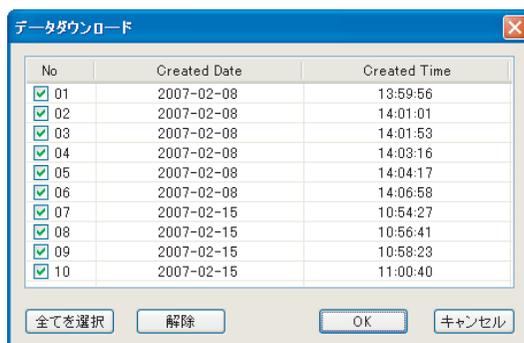
OKをクリックすると時刻の設定は完了します。

## 5. 映像データダウンロード方法

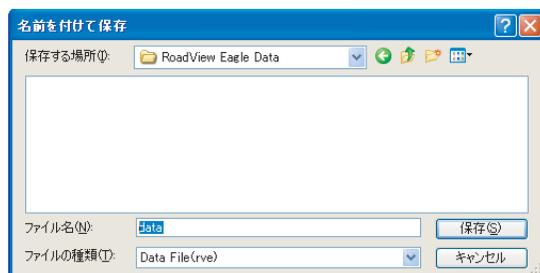
## 5. 映像データダウンロード方法

## 1) データダウンロード

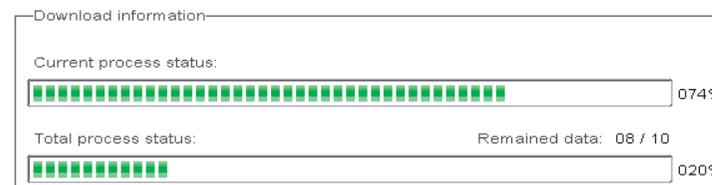
本体や 市販のUSBフラッシュメモリーを PCに接続した状態で “ダウンロード” ボタンを押してください。下の画面が表示されます。  
不要なデータの左側ボックスのチェックを外し、ダウンロードするデータにチェックされているのを確認後 “OK” ボタンを押して下さい。



下のファイルの記録ウィンドが表示されます。ファイル名を入力した後 “保存 (S)” ボタンを押してください。  
ファイルは “ファイル名・記録日付・記録時間.rve” で保存されます。  
(ファイル名の変更がなければ、“保存 (S)” ボタンを押して下さい。この場合には “記録日付.記録時間.rve” で保存されます。)



PCに映像データの保存が始まります。  
データ保存は選択したデータのみ保存されます。

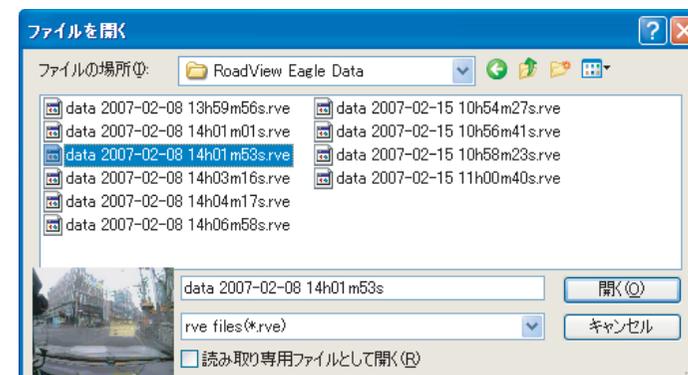


残ったデータ数 (Remaining data) が 0 でデータダウンロード進行率が 100% になると、全てのデータダウンロードが完了されます。

## 6. 映像データ再生方法

## ファイル開く

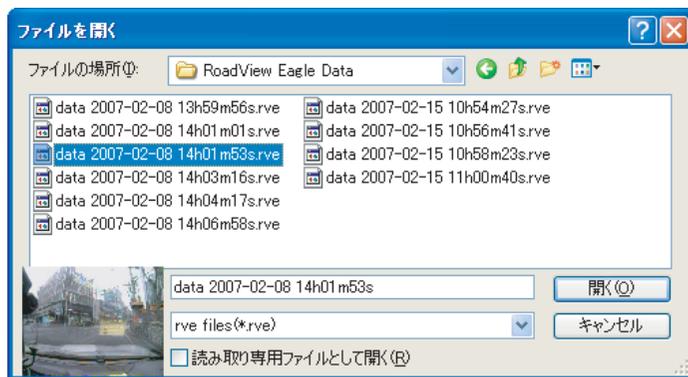
“開く” ボタンを押せば下の画面が出てきます。  
ファイル名を選択すれば画面の左側下端にプレビュー画面が表示されます。  
ファイルを選択した後 “開く (O)” ボタンを押せばファイルの内容が再生準備されます。



- ※ いくつかのファイルを同時に選択することができます。最大100個までファイル選択が可能です。
- ※ 複数のファイルの選択方法  
隣接しているファイル：最初のファイルをクリックし、Shiftキーを押しながら最後のファイルをクリックします。  
隣接していないファイル：Ctrlキーを押しながら選択する各ファイルをクリックします。

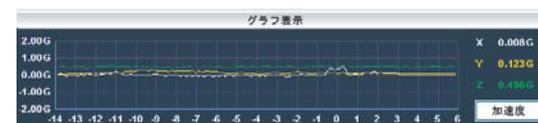
6. 映像データ再生方法

6. 映像データ再生方法



- (1) 再生ボタンを押して下さい。  
開いたデータ映像と加速度情報が再生、表示されます。  
映像を一カットずつ再生するには再生コマ送り、コマ戻し機能をご利用して下さい。
- (2) 映像画面の下の“移動バー”を利用すれば Window Media Playerのように映像画面を容易に移動することができます。

- 3) グラフ表示  
加速度データと加速度変化量データを精密なグラフで表示する機能です。



「グラフ」ボタンを押すと切替わります。



右側下端の“加速度”ボタンを押せばボタン表示文字が“加速度変化量”ボタンに変わり、加速度変化量データが出ます。



[加速度変化量]

## 7. 他のPCで記録映像を確認の手順

(RoadView Eagle Manager がインストールされていないPC)

USBフラッシュメモリーに一時保存した記録画像を他のPCで（記録画像を簡単に持ち運んで検証等に利用できます。）簡単に確認できます。

USBフラッシュメモリーをPCに接続し RoadView Eagle Manager のコピーボタンを押してソフトを USBフラッシュメモリーにコピーしてください。

1.



2.



4.



マイコンピュータを開きリムーバブルデスクを選択し、開いてください。

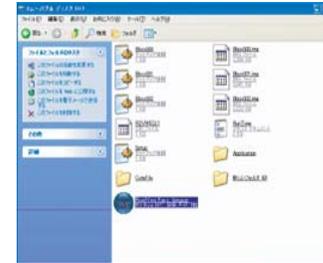
3.



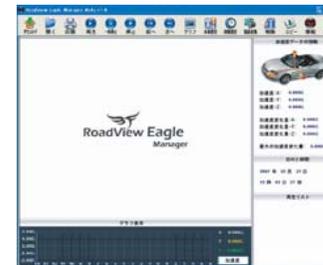
## 7. 他のPCで記録映像を確認の手順

(RoadView Eagle Manager がインストールされていないPC)

5. Road View Eagle Manager アイコンを選択し、開いてください。



6. Road View Eagle Managerが開きます。



7. ダウンロードボタンを押してください・記録データが表示されます。  
ダウンロードするデータにチェックを入れOKボタンを押してください。

8. ファイル名を入力した後保存 (S) ボタンを押してください。  
PCに映像データの保存が始まり、データダウンロード進行率が100%になるとダウンロードが完了します。(P. 20参照)

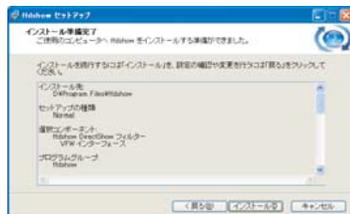
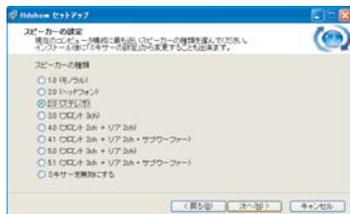
9. ファイルを開き保存された記録データを選択し、再生ボタンを押すと開いたデータの再生を開始します。(P. 21参照)



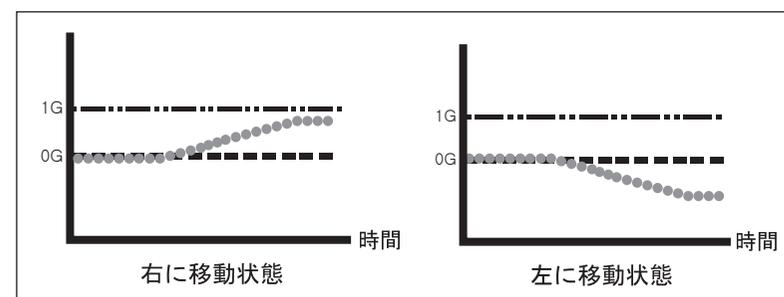
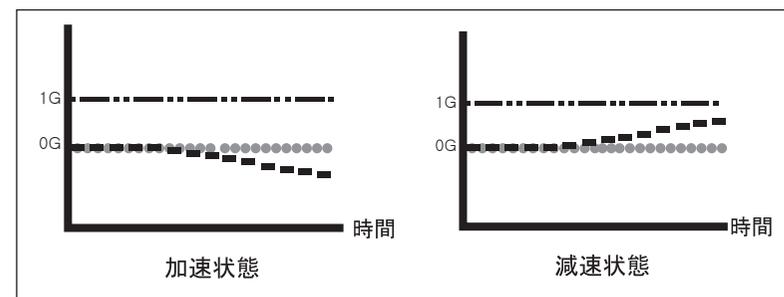
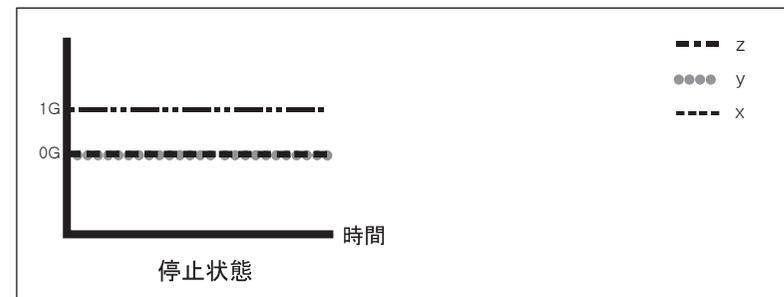
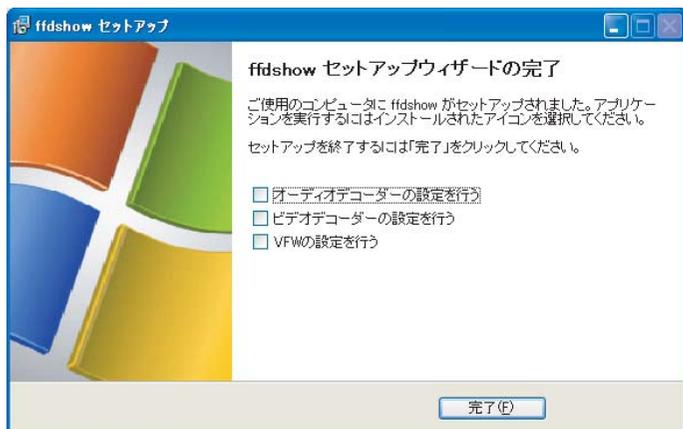
8. 動画ファイル変換及び再生

9. 加速度データ解析例

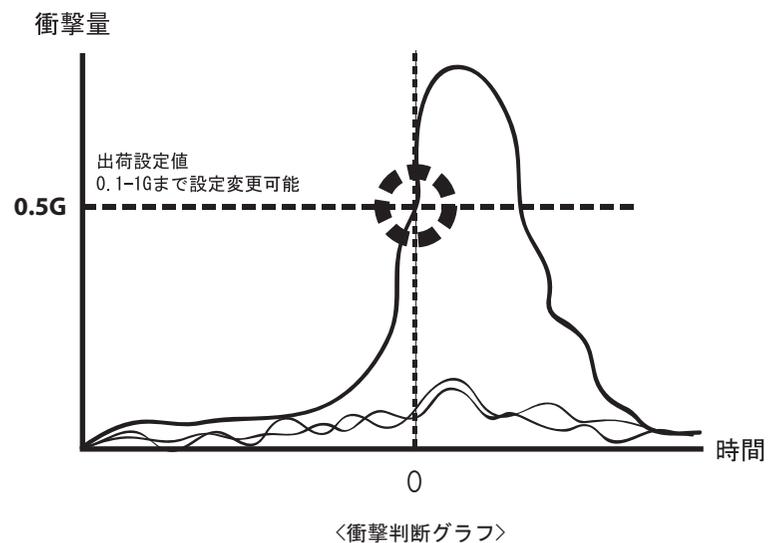
11) “次へ(N)” ボタンを押します。 12) “インストール(I)” ボタンを押します。



13) インストールが完了すると次の画面が出てきます。“完了(F)” ボタンを押してインストールを終了します。

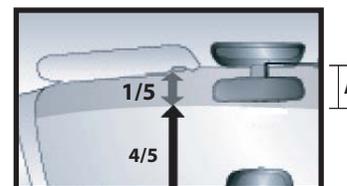


## 10. 衝撃判断グラフ



## 1. 設置時 注意事項

- >> Roadview Eagleは設置する時、角度と水平維持が重要な製品であるため、平らな場所で設置作業を行って下さい。
- >> 取り付けた後で配線をマウントをご使用になり整理して下さい。
- >> 車両フロントガラスのルームミラーの裏（運転者の視野を妨げないところ）に取り付けて下さい。
- >> ルームミラーを動かしても邪魔にならないかどうかを確認し、邪魔にならない位置を選んで取り付けして下さい。
- >> 車両に取り付ける前に取付位置のガラスを乾布などで綺麗に拭いて下さい。
- >> 車両に取り付ける時には車両内の他の安全装置に影響を与えないように取り付けして下さい。
- >> エンジンをかけてブザー音が3回出るのを確認して下さい。  
(LED 点灯及びブザー音案内確認)



本機の取付は上記イラストのA部のみ保安基準に適合しておりますのでイラストを参考に必ずA部に下記方法にてお取付け下さい。

2. 取り付け方法

※ 車両に取り付ける時前方がしっかりと見える所に取り付けて下さい。下のよう  
フロントガラスのルームミラー後ろに取り付けます。  
ルームミラーを操作する時に邪魔にならない位置に取り付けて下さい。



2. 取り付け方法

- step 1) 本体の附着した両面テープを外します。
- step 2) Roadview Eagle を車両の中央に合わせます。
- step 3) Roadview Eagleの左右位置が水平になるように車両のフロントガラスに密着させます。
- step 4) 車両のフロントガラスに取付けた本体が垂直になるように前後角度を調節します。
- step 5) 調節が完了したら取付ねじを時計方向で回して本体をしっかりと固定して下さい。
- step 6) 付属のカー電源コードを本体とシガーソケットに接続しエンジンをかけるとブザー音と同時に LED 表示ランプが黄色→緑→青色に変化すれば装着が完了になります。



step 1



step 2



step 3



step 4



step 5



step 6

## 2. 取り付け方法

### 本体設置角設定

\* 初めてご使用になる前と取り外して再度取り付ける度にご確認ください。

▶ 本体の設置された水平、垂直角度をRoadview Eagle本体に認識させる為、次の手順にて行ってください。

Step 1) MUTE/DNボタンを押した状態でカー電源コードをシガーソケットに接続しますと、LEDが白色に変わり、ブザー音が2回鳴ります。

Step 2) MUTE/DNボタンを再度押しますとLEDが青色に変わりブザー音が1回鳴り、設定終了します。

※ 映像データを直接PCにダウンロードするためには本体を車から取り外さないといけません。  
この時には取付ねじを反時計回りに回して取付ステーから本体を取り外して下さい。

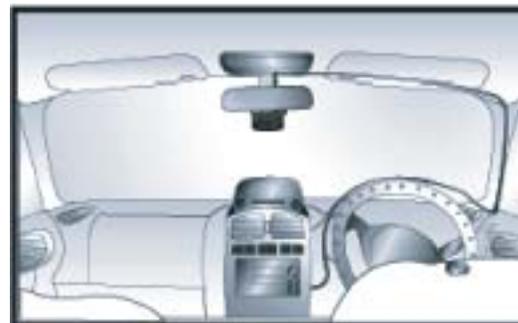
※ 映像データを“USBフラッシュメモリー”に保存する場合は、本体を車両から取外す必要がありません。  
付属の USB 変換アダプターを本体に接続して“USBフラッシュメモリー”を挿入して映像データをダウンロードしてください。



ルームミラーの操作範囲に注意

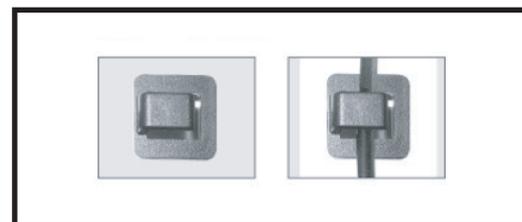
## 3. カー電源コードの配線

1. マウントの裏側のステッカーを取り除いた後貼付てください。



Roadview Eagle のカー電源コードをシガーソケットに接続して頂きますと、Roadview Eagle は作動します。  
コードが運転の支障にならないようにマウントなどを使って配線して下さい。

2. 電源コードをマウントに差し込みます。



マウントに電源コードを挟んだ写真

#### 4. 設置後点検

#### 故障だと思う前に

- >> 始動時に、ブザー音3回と同時に LED 表示ランプが黄色→緑→青色に変わることを確認して下さい。
- >> 本体がルームミラーを動かすのに邪魔にならないかを確認して下さい。
- >> 設置位置にしっかり装着されているか確認して下さい。
- >> 本体の角度が地面と垂直になっているか確認して下さい。
- >> REC(Record) ボタンを使えば手動で映像を保存することができます。  
REC ボタンを押して ブザー音と共に LED 表示ランプが 緑に変わり、ブザー音と共に LED 表示ランプが青色に変わるかを確認して下さい。

- ・USBフラッシュメモリーで映像がダウンロードをすることができない時
  - ダウンロード手順に間違いが無いか確認して下さい。(P.10を参照)
  - ダウンロードが終わるのを確認して下さい。
  - USBフラッシュメモリーの残り容量が十分にあるかを確認して下さい。
- ・映像にしみ等が映り込みしている時
  - 本体のレンズが汚れている場合はメガネ用の布等で拭いて下さい。
- ・映像の視野が大きくズれている場合
  - 本体の取付け方法、取付け位置を再度確認し前面を向いているかを確認して下さい。
- ・本体の LEDが消えている時及びブザー音が鳴らない時
  - カー電源コードが接続されているか確認して下さい。



- ・電源電圧 : DC 12V/24V
- ・最小稼働電圧 : DC 8V
- ・最大稼働電圧 : DC 32V
- ・最大電流 (連続) : 170mA, 12V 基準
- ・最大電流 (瞬間) : 900mA, 12V 基準 (バックアップ電源充電時)
- ・作動温度 : -20度 ~ 70度
- ・保存温度 : -40度 ~ 85度
- ・カメラタイプ : カラー CMOS カメラ
- ・最大画素数 : 35万画素
- ・最大映像保存数 : 10 frame / sec
- ・最低作動照度 : 1 lux
- ・レンズの角度 : 左右120度
- ・映像保存解像度 : 640 × 480 pixel
- ・外形寸法 : 80 × 61 × 33 (mm) 取付ステー除く
- ・重さ : 85g
- ・USB2.0推奨
- ・RoadView Eagle Manager 動作環境 : Windows 2000 / XP / Vista

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は製品に保証書を添えてお買い上げ頂いた販売店に修理をご依頼してください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
  - (ロ) お買い上げ後の運送・移動・落下等による故障及び損傷。
  - (ハ) 火事・地震・水害・公害・異常電圧・指定外の電源使用(電圧)及びその他天災地変などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 保証書の提示がない場合。
  - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 保証は日本国内においてのみ有効です。

保証、アフターサービスに関して

- ◎ 保証期間はお買い上げ日から一年間です。  
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管して下さい。
- ◎ 修理を依頼される時にはまず配線の状態及び操作方法に間違いがないかどうか調べていただき、それでも異常のあるとき修理依頼してください。
  - 保証期間中:保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
  - 保証期間が過ぎている時は、お買い求めの販売店にご相談下さい。